

<p>地域福祉懇談会（小合地区）</p> <p>日時：令和5年6月7日（水）13：30～14：30</p> <p>会場：小合地区コミュニティセンター 集会室</p>	出席者
	<p>小合コミ協：阿部会長 野瀬山副会長 稲月副会長 澤田副会長 高橋副会長 今井事務局長</p> <p>地区社協：吉田幹事 鈴木幹事 井村幹事 吉田幹事 大竹幹事 高野幹事</p> <p>サロン：大鹿ふれあいサロン川島さん サロンさくら会井浦さん</p> <p>大秋にぎやかサロン高橋さん ふれあい興寿高橋さん</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐 小林地区担当 吉岡 SC</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも同じメンバーで活動されているので気兼ねなく相談できる関係ができています。 ・いつも参加してくれている方に役員の話をするとう家庭の事情もあり難しいと断られてしまい交代できない現状がある。 ・サロンの担当を自治会がやるのはとてもいい。 ・現在参加人数が10人に満たない日が多く次年度の継続が難しい状態である。 ・自営業が多く年中仕事という方が多い地域であり、参加者も高齢で入院したり、公会堂が境内にあるため不幸があると参加できないといった課題もある。 ・中間の年代の方が参加している。参加者も12名くらいで特に困りごとはない 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度からは自治会が主で活動をする。（若い方の役員の確保と、活動内容の見直しを行い、若い世代の参加を期待したい。） ・仕事をしている人も多く現在の開催日や時間の検討も今後役員と一緒にいる。 ・子ども会との連携（地域子ども会との合同イベントとして納涼会を計画している。子ども会を通じて案内を渡し、両親も一緒に参加できるイベントにする。） ・花見や年末年始は集まってイベントを開催する。 ・サロン開催日が平日なので、今後土日も含めて検討する。 	<p>大鹿ふれあいサロン 大鹿自治会</p> <p>蕨曾根ふれあいサロン</p> <p>サロンとき</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数も少なくクラブなどあれば参加できない。 ・回覧板などで周知しているがそれ以外も声掛けなど行っている。読み聞かせなどあれば子どもは集まるが、声掛けしないと来ない。 ・今年度から週一の茶の間になった。参加人数も22名くらいで地域でやっていた「銭太鼓」や「輪投げ」などの方にも声掛けして一緒にやっている。 ・子どもたちとの交流もあり、お互いに幼稚園や保育園に行ったり来たりして参加を促している。 ・音楽や体を動かしたり物作りをして楽しんでいる。参加人数に関してはまちまちで少ないときもあれば多い時もある。 ・男性の参加を検討したらどうか。男性がいるとできることが増える。いないと差し支えることもあると思う。 ・男性も参加しやすい環境づくりが大切ではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒針仕事など活動内容にあっても参加しにくい。 ⇒夜などの開催でお酒の提供もありなのではないか ・参加者が固定しているため、新しい人が参加しにくいという声があった。 ・自治会・町内会がサロンの後押しをしてくれたらいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧や声掛けによる周知 ・若い人が参加しやすいようにヨガや体を動かす内容を検討する。 ・参加しやすい雰囲気作りが大切である。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒男性を含めた誰でも参加しやすい内容を検討する。 ・自治会・町内会とサロンによる情報交換の場を検討。 ・サロンの充実・推進 ・ロコモ、読み聞かせ、ギター演奏支援 	<ul style="list-style-type: none"> カフェくりみや サロンさくら会 子成場ふれあいサロン 各サロン 自治会・町内会 地区社協

見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・おせち訪問の希望があった方に、サロン担当者がおせちを届けたが、一回のみの訪問のため、寂しさが増したのではないか。 ・なじらて訪問の回数を増やした方がいいのではないか。 ・二人暮らしの高齢者世帯のお一人が亡くなった。今後高齢者一人暮らしになった場合、見守りが必要になると思うが、民生委員に早々に情報がいくのか心配である。 ・地域で集まる場所に参加しないと地域の活動などわからないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なじらて訪問など、サロン担当者などによる訪問回数を増やせるかを検討する。(方法などについては確認と検討する。) ・自治会・町内会と民児協との連携 ・民生委員に確認する。 ・情報交換の場を検討。 	<p>地区社協</p> <p>自治会・町内会 民児協</p> <p>地区社協</p>
-----	--	--	--